

明日に向かって
よーいドン！



本号の
ポイント！

【挟み込み資料】

議員定数などのアンケート

議案一覧 『議会は可決・同意』

※詳細はホームページをご覧ください
録画配信はこちら▶



報告	専決処分の報告について（物損事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）【2件】
	専決処分の報告について（静岡県市町総合事務組合理約の一部を変更する規約）
	専決処分の報告について（工事請負契約の変更）
予算	令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第4回）
	令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）
	令和5年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）
	令和5年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第2回）
条例	伊豆市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
	伊豆市印鑑条例及び伊豆市手数料徴収条例の一部改正について
	伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について
	伊豆市中伊豆交流センター条例の全部改正について
	伊豆市立修善寺老人憩の家設置条例の廃止について
	伊豆市わさびの郷 Izu Wasavisitor Center 条例の制定について
	伊豆市修善寺総合会館条例の一部改正について
	伊豆市修善寺温泉宮湯条例の一部改正について
	伊豆市松原公園条例及び伊豆市松原公園条例の一部を改正する条例の一部改正について
その他	財産の取得について
	公の施設の指定管理者の指定について（中伊豆体験農園）
	公の施設の指定管理者の指定について（持越オートキャンプ場）
	公の施設の指定管理者の指定について（月ヶ瀬地域振興施設）
	市道路線の認定について
諮問	人権擁護委員候補者の推薦について

賛否が分かれた議案	小川多美子	浅田藤二	鈴木優治	飯田大	黒須淳美	下山祥二	杉山武司	星谷和馬	鈴木正人	間野みどり	波多野靖明	小長谷順二	三田忠男	永岡康司	杉山誠	議決結果
一般会計補正予算（第4回）	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	可決
伊豆市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	可決
伊豆市立修善寺老人憩の家設置条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

※議長（青木 靖）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。
※討論は6件（賛成4、反対2）ありました。詳細は12/19定例会最終日の録画配信をご覧ください。

令和5年伊豆市議会

12月定例会

会期：令和5年11月28日（火）～12月19日（火）

◆会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
11/27	28 本会議初日 議会広報委員会	29	30	12/1	2	3
4 本会議2日目 （一般質問）	5 本会議3日目 （一般質問）	6	7	8 議会運営委員会 本会議4日目 （議案質疑） 議会改革推進 特別委員会	9	10
11 総務経済委員会	12 教育厚生委員会	13	14 議会運営委員会	15	16	17
18	19 本会議最終日 全員協議会 議会広報委員会	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



※会期日程以外の詳しい議員の活動はホームページに掲載
アクセスはこちら▶



要チェック議案



- ・議案第77号 令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第4回）
- ・議案第85号 伊豆市わさびの郷 Izu Wasavisitor Center 条例の制定について
- ・議案第94号 令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）

令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第4回）

詳細

※1万円未満は切り捨て

総務費：企画費 / 支所費 他 【1億3,237万円】
（寄附額の増加に伴うふるさと納税促進事業費の増 他）
諸支出金：基金費 【1億555万円】
（寄附額増加に伴うふるさと伊豆市応援基金積立金の増 他）



令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）

詳細

民生費：社会福祉総務費 【2億8,294万円】
（物価高騰対応重点支援給付金事業）
商工費：商工振興費 【1億26万円】
（緊急経済対策事業）



9/8・11 常任委員会



議案質疑

◆令和5年度一般会計補正予算(第4回)

質疑

Q ふるさと納税の寄附が堅調に推移している理由をどのようにとらえているか。

A 主力返礼品である宿泊券の件数が堅調に推移していることが挙げられます。

また、返礼品の充実にも力を入れており、多種多様で魅力的な返礼品を揃え、選んでいただける機会を増やす取り組みをしていることも、要因だと考えています。



◆伊豆市わさびの郷 Izu Wasavisitor Center 条例の制定

質疑

Q 条例制定により、現状がどのように変わり、どのような効果が期待できるか。

A 公の施設として設置することで、誰もが利用できる施設になります。

効果としては、第1条の「わさびを中心とした地域情報等の発信」「市民、生産者及び来訪者との交流の促進」でわさびの郷である伊豆市を知り、多くの人に興味を持っていただく。さらには、観光客へ適切な案内をすることで「生産地の保全」が図られるものと考えています。

◆伊豆市修善寺温泉管湯条例の一部改正

質疑

Q 利用料を上げることで、利用者数の増減及び経営面について、どのように予測しているか。

A 市民及び市内在勤者と市外者の利用者数割合は、市民及び市内在勤者が2割、市外者が8割ですが、市外者の割合が少し減ると想定しています。

経営面は、利用者の減少が予想されますが、料金が上がるため収入は増えるものと予想しています。人件費の高騰や設備等の経年劣化による修繕など、支出も増えますが、収支としては十分利益が出るものと予想しています。



修善寺温泉管湯

総務経済委員会

◆令和5年度伊豆市一般会計補正予算(第4回)

質疑

Q 企画費でシステム使用料2492万3000円の内訳は。

A ふるさと納税に関するポータルサイトに、寄附額の10%程度の使用料を支払ったため、寄附額が増えると、使用料も同時に増えるシステムです。

◆伊豆市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正

質疑

Q 人事院勧告は、一般職について適用されると思うが、特別職の給料を上げるといっているのか。

A 特別職の給料を上げるものではなく、人事院勧告に基づき手当の支給率のみを上げるものです。

Q 特別職の手当ほどの程度の金額が上がるのか。

A 手当の支給率が0.1カ月分上がり、特別職3人の合計で約23万円です。

◆伊豆市わさびの郷 Izu Wasavisitor Center 条例の制定

質疑

Q わさびの郷の拠点施設は、資料館のみで、物販は行わないのか。

A 基本的に3つの機能目的「資料館」「ガイドを伴ったツアー」「食体験(食べ比べ)」を想定しており、物販は考えていません。



Izu Wasavisitor Centerとなる建物(原保)

教育厚生委員会

◆令和5年度一般会計補正予算(第4回)

質疑

Q スマートフォンを活用した、電子証明書の発行手続き方法は。

A *マイナポータルアプリで、電子証明書の申請発行が可能です。

Q 市民への周知方法や時期は。

A 現在システム開発中で、電子証明書の機能が利用できないスマートフォンもあるため、全ての準備が整い次第、市のホームページや広報で周知する予定です。

*マイナポータルアプリ・マイナンバーカードの機能を、スマートフォン等から利用できるようにするアプリ



◆伊豆市立修善寺老人憩の家 設置条例の廃止

質疑

Q 当初9月議会に上程予定が、12月議会になった背景や理由は。

A 年度の早い段階で、議会にお諮りすることを目標としていましたが、利用団体、区、地域づくり協議会などへの説明などでこの時期になりました。



老人憩の家



市政を問う

～一般質問～

12月定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁を要約してお知らせします。



録画配信へ

伊豆市議会 ライブ中継

👉 🔍 検索 からご覧ください。



パソコン



Android
スマートフォン

QRコードを読み取るアプリをダウンロードしてご利用ください。



iPhone
アイフォン

カメラアプリを起動してQRコードを画面に入れ、読み込みのコードが出たらタップしてご利用ください。

※各議員のQRコードを読み取ると、全ての一般質問の様子を動画で見ることができます。

美術館建設を問う



波多野 靖明 議員

答 事業者に内容のサウンディングを行い、整備手法など協議します
伊豆市の宝、郷土の宝であり国宝にも名を連ねる日本画家の美術品を大切に保管すると共に、「伊豆人」を育てるといふ観点や、次世代へその価値を正しく理解してもらうため、また新たな観光拠点としても、美術館建設は伊豆市の今後に大きな影響をもたらすと考えますが、現在はどのような進捗状況になっていますか。

教育長 伊豆市教育大綱の重点目標に「伊豆市が誇る文化・芸術資源を活用し、感性豊かな心を育む」とあり、歴史・文化・芸術に触れる機会は、「伊豆人」の育成の観点からも大変重要であり、学びと展示機能を備えた施設の整備を、今後推し進めていきたいと考えています。

教育部長 施設の内容は、今後、施設整備に関心を持つ民間事業者などを公募し、応募があった事業者から内容についてのサウンディングを行い、整備手法や事業内容について協議を行いたいと考えています。



動画はこちら
※他の質問あり

地域に残る文化の伝承を守りませんか



間野 みどり 議員

答 伝統芸能の存続の危機だけでなく、地域の衰退にもつながりかねないと認識しています
コロナ、インフルが少し和らぎつつあるこの頃、各地で秋祭りやイベントが多く行われるようになりました。しかし、それと同時に、地域では芸能などの伝承の難しさや、担い手不足など様々な問題点が浮き彫りになってきました。市として、そのような問題点をどのように捉え、補助金などのサポートはありますか。

教育部長 問題点としては、高齢化や少子化による担い手不足や、コロナによる活動休止から依然として活動が再開できない団体もあることで、これらの課題については、伝統芸能の存続の危機だけでなく、地域の衰退にもつながりかねないことだと認識しています。

補助は、市の無形民俗文化財の指定団体に対し行うものや、地区のコミュニティ備品購入に対して行うもの、地域づくり協議会の交付金など、地域の活動にも活用可能な補助金があります。



動画はこちら
※他の質問あり

修善寺地区4小学校の再編



鈴木 優治 議員

答 様々な立場の方の意向や声を丁寧に伺い、関係部局としっかり協議・検討します
大切なことは、将来を担う子どもたちのために有意義なかたちで早急に方向性を示すことです。複式学級が現実視されるなか、修善寺地区4小学校の再編についての検討を開始以降、14年が過ぎましたが、経緯は色々あったと理解してはいますが、行政としての方向性、目途（時期）を示していただけるか伺います。

総務部長 学校は子どもたちの教育の場であり、地域住民にとっても防災や交流の場など、様々な機能を有し、地域に根差した存在であることから、今後の再編の検討にあたっては、保護者、地域住民、また様々な立場の方の意見や声を丁寧に伺い、教育委員会等で一定の方向性が示されるものと考えており、関係部局としっかり協議検討します。



動画はこちら

松原公園駐車場料金を問う



永岡 康司 議員

答 ゲートを設置し年間を通じて有料化します
松原公園津波避難複合施設、公園整備も順調に進み、令和6年4月の完成を目指していますが、次の項目について伺います。
①公園駐車場の通年有料化の経緯は②夜間駐車や車中泊が、近隣住民に与える迷惑行為とは③ゾーンにより、料金設定を変更しますが、この収入をどのように考えるか④公園近隣飲食店に与える影響はありますか。

産業部長 ①指定管理者の公募の際、2社から機械式ゲートを設置し、年間を通して有料とするとの提案を基に検討しました。②海水浴期間以外の時期に、夜間駐車や車中泊があるようです。ゴミの放置や、夜中に大声で騒ぐなどの迷惑行為があると聞いています。③市の見込みは、ハイシーズンがこれまでの実績と同程度の500万、指定管理者からの提案ではオフシーズンを含めた年間収入は720万円を見込んでいます。④多くのお客様が来れば、併せて訪れていた



動画はこちら



星谷 和馬 議員

質問 Question 修善寺虹の郷、将来の活用の方向性は

市内の公共施設は4町の合併によりあまりにも多くあり、老朽化、利用者の減少等により統廃合は避けて通れません。速やかに統廃合をして固定費の削減を図り、並行して跡地は有効活用をすれば、地域や市の活力にもなります。修善寺虹の郷は市内最大の観光施設です。将来に向けての活用の方向性について伺います。

産業部長 計画に基づき、*公募型サウンディングの参加事業者を募集し、民営化の手法検討や移行準備の作業を進めているところです。

サウンディングの目的は、民間事業者と意見交換を行い、施設の活用方法など広くアイデアや提案をいただき、運営事業者公募にあたり、事業者の参加しやすい募集条件の整理、関心表明の状況把握にあります。今後、応募者との意見交換、現地案内などを実施し、令和6年2月末までに結果を公表したいと考えています。

※公募型サウンディング・民間事業者から広く意見や提案をいただくことで、参加しやすい公募条件等を正確に把握するための調査



動画はこちら

質問 Question ~魅力ある教育を~子どもたちのために



黒須 淳美 議員

伊豆中学校開校まであと1年4カ月、建設工事も進みその姿を少しずつ現しつつあります。新中学校へのスムーズな移行には、教育現場での幼・保・小・中の変化の激しい時代と、益々多様化する社会を生き抜く力を育むのに必要な学びとは、今後の英語教育も含め、どのような手立て、特色をもった教育を行っていきたく考えますか。

答 「伊豆人」づくりの具現化を図り、探求的に課題解決に取り組む力を育成します

教育長 知・徳・体のバランスの取れた未来を創造する「伊豆人」づくりの具現化に努めます。子どもたちの学びを深めるために、子どもの視点に立った授業改善や、ICTの活用スキルの向上を目指し、教員の研修体制を構築するなど支援体制を推進します。また、外部講師やカリキュラムを工夫し、本物に触れるなどの地域学習の充実を図っていきます。さらに、英語教育については、授業や日常の活動において、ALTとのコミュニケーションをさらに充実させるための研修を進めます。



動画はこちら



三田 忠男 議員

質問 Question 検討結果は確実に実行されているか

中伊豆地区の現状と課題を度々質問していますが、検討結果が見えにくいため、改めて、着実な実行を求めます。温泉病院跡地、交流センターの今後、バス路線の今後、六仙の里公園、今後力を入れて取り組みたい行政課題は何か伺います。

答 行政課題は、総合計画を着実に推進、土地を活かし守る、災害死者ゼロを目指すことです

教育長 各学校の状況などを踏まえた、より良い教育環境整備を進める事が最大の課題です。

総合政策部長 中伊豆温泉病院跡地利用は、各種企業への情報提供など、引き続き支援していきます。中伊豆交流センターは、本館等を解体後、3月末までに温泉施設の受付棟の新築などを行う予定です。公共交通機関の再編は、住民の意見を取り入れ検討していきます。六仙の里は、遊具の改修や管理道を整備しました。



動画はこちら



小長谷 順二 議員

質問 Question 特殊詐欺やフィッシング詐欺の現状と課題

静岡県警が令和4年に認知した特殊詐欺件数は、417件と確認され、年々増加しています。また偽のサイトなどに誘導し個人情報などをだまし取るフィッシング詐欺は、過去最高を更新し、深刻な状況にあります。特殊詐欺・フィッシング詐欺の現状と対策、そして子どもを狙ったネット詐欺等の現状と課題について伺います。

答 警察との連携を密にし、犯罪被害の撲滅に取り組みます

総合政策部長 警察によると、市内における特殊詐欺の被害件数と被害額は、令和4年度は、1件500万円、令和5年度は9月末時点で、2件299万円です。また、フィッシング詐欺の被害は認知していないとのこと。

市の対策としては、警察と連携し、情報メールや同報無線による情報提供、啓発冊子配付などに取り組んでいます。対策を取ればすぐに別の手口が次々に生まれる状況に、どう対応していくかが課題です。



動画はこちら ※他の質問あり



飯田 大 議員

質問 Question クリーンセンターいずとごみ処理の実態

市内のごみの収集は、どのような体制で行われていますか。集積所から搬入までのトラブル、課題はありますか。クリーンセンターいずの発電実績はどうですか。ごみ出しのルールを通し、市民のごみ減量化へ向けた意識の向上への取組みはありますか。

答 ごみの分別の意識向上、減量への取り組みなどを行っています

市民部長 収集は、800カ所の集積所を、4コースに分け、収集業者が、燃やせるごみを毎週2回、不燃物、プラスチック類、紙類や缶等を、隔週で回収しています。トラブルとして、対象外のごみや異物の混入等がありますが、イロカードを貼って、改めて分別や直接搬入等をお願いしています。4月から10月までの発電による売電実績は、約3600万円です。ごみ減量化・再資源化の取組みとして、コンポストや生ごみ処理器購入補助事業、資源ごみ集団回収補助事業等を行っています。



動画はこちら



杉山 誠 議員

質問 Question 物価高騰に苦しむ市民への支援を速やかに

長引く物価高騰で、多くの市民が苦しんでいます。政府は、長引く物価高を乗り越えるために新たな総合経済対策を決定し、地方公共団体への交付金を追加して、速やかに効果的な支援事業を行うように求めています。物価高騰から市民生活や事業者を守るため、この交付金をいかに有効に活用しますか。

答 市民ひとり当たり3000円の商品券を配布します

産業部長 追加される重点支援地方交付金の活用は「低所得世帯支援枠」として、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への負担軽減を図るため、住民税非課税世帯に対して7万円を支給し、また、推奨事業メニューでは、物価高騰の影響を受けている市民の皆様や、市内事業者への支援策として、市民ひとり当たり3000円の商品券を配布する準備を進めており、関連する補正予算を今定例会に追加議案として上程します。



動画はこちら ※他の質問あり

議会報告会（みんなで語る会）

本年度の議会報告会は、市内全域の4地区で市民に対し行ってきた議会報告会ではなく、市が掲げる「子育て全力宣言 伊豆市」の応援対象となる、小・中学校・小中一貫校 PTA の役員とママスタッフ、伊豆総合高校の伊豆市出身の生徒を対象に、座談会形式で「みんなで語る会」として開催しました。

※伊豆総合高校の報告は次回号で掲載いたします。

11/15 ママスタッフから7名が参加



【議会報告会から
委員長 飯田大】

今年度は、「未来を担う“こどもたちに”持続可能な伊豆市のバトンを渡すために必要なこと」をテーマに、子育て世代、PTA 役員と「みんなで語る会」を開催しました。ママスタッフや、PTA の皆さんから、伊豆市での子育てを充実させるための率直なご意見などをいただきましたので、議会活動に活かしていきたいと思ひます。

12/12 市内6小学校 PTA 役員から 11 名が参加



12/13 3 中学校と土肥小中一貫校 PTA 役員から 11 名が参加



議員定数等について“アンケート”にご協力を!!

令和6年10月に市議会議員の選挙が行われます。現在、議員定数は16人で、議案を審議しています。皆様のご意見を伺い、来期の議員定数の検討資料とさせていただきます。

ホームページには、議員定数に関する参考資料も掲載しています。



本紙差し込みが回答用紙です!

※詳細は伊豆市議会ホームページをご覧ください ホームページ QR▶



※スマートフォンからも回答できます アンケート回答 QR▶



伊豆市 議員定数アンケート 検索

教育厚生委員会 行政視察 (10/17~19)



報告書はこちら▶

兵庫県洲本市



兵庫県神河町



兵庫県加西市



兵庫県姫路市



【行政視察報告/教育厚生委員長 三田 忠男】

伊豆市行政施策の課題を、先進地を視察することによる知見を得て議会、行政に反映させる目的で①自然環境豊かな伊豆市の自然を壊さない再生可能なエネルギーの取り組み②中学校統合後の廃校活用、小学校の統廃合の課題等③主要事業である、少子化対応・子育て支援の伊豆市と比較④美術館建設課題等視察いたしました。その結果、意欲的職員の育成、竹林活用の研究、各種関係者との協議、住民協働、ふるさと納税増収策と活用の官民連携、必須事業のプロジェクトチームによる取り組み等の視点を学びました。

議会モニター(2期)のみなさん

令和6年1月をもちまして任期が終了しました。多くの貴重なご意見やご協力をありがとうございました。



※第2回モニター会議

議会モニターから寄せられた意見

意見

○議会だよりの配布方法について、伊豆市のフェイスブック、メール等でホームページのリンクを送れば市民のみなさんがより見ていただけるのではないのでしょうか。

回答

○情報メール等で、登録者に議会だよりを議会ホームページに掲載したことをお知らせするご提案、ありがとうございます。情報メールでお知らせするように検討します。※現在配信しています

○議員と市民の対談コーナーを取り入れて、市民参加型にすることで、拡散に繋がる可能性が増え、一方的な発信からは少し抜け出せるのではないかと思います。

○議会広報委員会で市民参加型の情報発信も課題にします。

能登半島地震の被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます

アンケートを実施中!

伊豆市議会だより 検索

アンケート回答フォーム



Webからも回答できます

ここから1分程度の簡単なアンケート♪



✓ 前月号アンケートにて、ご意見をいただきましたのでご紹介します。(※ 回答一部抜粋)

- 普** ・ (★★★★☆☆ 70代) **良** ・ 表紙がとても、暖かい!! (★★★★☆☆ 70代 ばあば様)
- 良** ・ わかりやすいレイアウトで読みやすいと思います。議会のことを、少しでもわかりやすく伝えようとしていて、とてもよいと思います。これから、市民にわかりやすく議会の活動が伝わるようにお願いします。(★★★★★★ 30・40代)

広報委員会委員から

ご回答いただきまして、誠にありがとうございます。皆様に手に取って読んでいただきたい一心で、写真選定や、編集に努めています。議会活動をわかりやすく伝えていけるよう、新広報委員会一同努力してまいります。



新 広報委員長挨拶!

皆様こんにちは。11月に広報委員会委員の改選が行われ、新たなメンバーで編集を行っています。

旧メンバーからの引継ぎもあり、今後更に読みやすく、親しみのもてる議会だよりづくりに委員一同努力してまいります。お気づきの点、ご意見などお聞かせください。(広報委員長 間野みどり)

3月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
2/12	13	14	15 本会議初日 全員協議会 議会広報委員会	16 全員協議会	17	18
19	20 本会議2日目 (一般質問)	21 本会議3日目 (一般質問)	22 本会議4日目 (一般質問)	23 天皇誕生日	24	25
26	27 本会議5日目 (議案質疑)	28 連合審査 (総務経済委員会所管分)	29 連合審査 (教育厚生委員会所管分)	3/1 総務経済委員会	2	3
4 教育厚生委員会	5	6	7	8	9	10
11 議会運営委員会 (予備日)	12	13 本会議最終日 議会広報委員会	14	15	16	17

※日程は変更となる場合があります

12月 議会広報

11月24日の FMIS生放送で、間野みどり議員が定例会のお知らせや報告を行いました。次回は2月末に3月定例会のお知らせをします。

編集後記

卯から辰にバトンタッチ、新しい年を迎えました。議会広報委員会も新メンバーにて出発致します。本号では昨年の議会12月定例会を中心に市民の皆様にご報告させていただきました。

また、本年4月には市制20周年を迎えます。変革を求められる時代ですが、過去の歴史を認識したうえで改革でありたいと思います。幅広い世代の皆様にご覧いただければ幸いです。

議会広報委員 鈴木 優治

議会傍聴のご案内



お問合せ先 (議会事務局)

Tel. **0558-72-9906**



伊豆市議会だより

発行 伊豆市議会

編集 伊豆市議会広報委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2
☎0558-72-9906

次回は令和6年5月1日発行予定です。

議会ホームページ

